

＜別紙＞

## 1. 各社役割

### (1) KDDI

1. 「IoT 世界基盤」の推進
2. 「グローバル通信プラットフォーム」の開発・提供

### (2) 日立

1. IoT プラットフォーム「Lumada」と「グローバル通信プラットフォーム」の連携
2. グローバル通信プラットフォームの主要機能の開発・構築支援

## 2. 産業用インクジェットプリンターの試験導入について

### (1) 概要

日立産機の顧客先の一つである米国食品工場において、グローバル通信プラットフォームを活用した産業用インクジェットプリンターの遠隔モニタリングを行います。従来、有線(構内 LAN)接続では工場内の通信ケーブルの取り回しに課題があり、無線接続ではセキュアな通信の確保や設定の煩雑さなどの課題がありました。今回、セキュアかつ高品質なグローバル通信プラットフォームを活用し、モバイル回線での遠隔モニタリングを行い、印字品質の管理や機器状態の一括監視、保守コスト低減に向けての効果検証を行います。

### (2) 開始時期

2018 年 7 月から

### (3) 産業用インクジェットプリンターについて



日立産機の産業用インクジェットプリンターは、インクが空中を飛ぶ非接触型の印字方式を採用した高速プリンターです。印字物の外面形状、表面が粗いものや凹凸のあるもの、柔らかいもの、壊れやすいものなどにも高速印字できることが特長です。

また、印字内容、文字種類・サイズはタッチパネルから簡単に設定できます。

飲料や食品、薬品などの賞味期限や、自動車部品、電子部品などの製造番号の印字など幅広い用途で世界中の国々や地域へ展開しています。

### 3. グローバル通信プラットフォームについて

KDDI のグローバル通信プラットフォームは、グローバル環境下での通信の接続・切替において、国や地域ごとに選定した通信キャリアへの自動的な接続・切替を可能にする基盤であり、IoT によりつながるさまざまなモノの管理において、通信回線や課金情報のほかユーザーの利用履歴や利用権限の統合的な管理を可能とします。

国や地域に跨り移動する自動車や建設機械といった移動体のほか、グローバルに出荷されるさまざまな産業設備などの一元管理を、通信環境を気にすることなく実現できるため、企業のグローバルでのスムーズな事業展開を支援します。

本プラットフォームは、トヨタ自動車株式会社と KDDI が進める「つながるクルマ」の通信基盤に採用されています。今後、KDDI は、自動車のほか、さまざまな産業分野における適用を拡大していく予定です。

なお、グローバル通信プラットフォームの開発にあたっては、開発パートナーの一つである日立の「Lumada」のテクノロジー・ノウハウを活用しています。（注3）

（注3） Lumada の中核テクノロジーの一つである Hitachi Application Framework/Event Driven Computing（HAF/EDC）などを適用しています。

以 上